

平成24年2月6日

株式会社 セイセツ
新潟県上越市国府二丁目十四番四十二号
代表取締役 石津謙介 印

連絡先部署名

〒942-0082

新潟県上越市国府二丁目十四番四十二号

代表取締役 石津謙介

TEL 025-544-2454

FAX 025-544-8478

の

規定による報告を下記のとおり行います。

なお、正当な理由なく、下記の報告を行った事実を第三者に明らかにいたしません。

記

1 報告する違反行為の概要

(1) 当該行為の対象となった 商品又は役務	新潟県上越市ガス水道局発注の本支管工事における入札 談合
(2) 当該行為の態様	ア 入札談合
	イ 上越市ガス水道局発注の本支管工事（旧上越市）に おいて、上越市ガス水道局入札参加資格業者（旧上越市 本支管工事対象業者）で、あらかじめ落札予定者を談合 し、落札しています
(3) 共同して当該行為を行っ た他の事業者の氏名又は名 称及び住所又は所在地	北陸工業㈱ 上越市石橋2丁目4-61 島津工業㈱ 上越市大字福田338-1 頭城水道㈱ 上越市春日新田5丁目13-10 ㈱イズミ 上越市大字黒市2598-29 上越ガスサービス㈱ 上越市藤巻9-16 ㈱石田工業所 上越市石橋7-14

	新貝工業㈱ 上越営業所 上越市栄町 2 丁目 8-10 田辺工業㈱ 上越市大字福田 20 北栄建設㈱ 上越支店 上越市藤巻 8-12 ㈱植木組 上越支店 上越市東雲町 2 丁目 1-5 ㈱井上商会 上越市石橋 1 丁目 7-29 ㈱松沢建設 上越市三ツ橋 1485 ㈱山田商会 上越市頸城区百間町 428-3
(4) 開始時期（終了時期）	遅くとも平成 18 年 4 月（～平成 23 年 6 月まで）

2 報告者（連名の場合は各報告者）において当該行為に関与した役職員の氏名等

報告者名	現在の役職名 及び 所属する部署	関与していた当時の役職名 及び所属していた部署 （当該役職にあった時期）	氏 名
石津謙介	代表取締役	取締役	石津謙介

3 共同して当該行為を行った他の事業者において当該行為に関与した役職員の氏名等

事業者名	現在の役職名 及び 所属する部署	関与していた当時の役職名 及び所属していた部署 （当該役職にあった時期）	氏 名
北陸工業㈱	代表取締役	代表取締役	山岸邦夫
北陸工業㈱	専務取締役	専務取締役	山岸国之
島津工業㈱	会長	会長	嶋津保
島津工業㈱	代表取締役	代表取締役	嶋津茂晴
頸城水道㈱	代表取締役	代表取締役	中山弘之
㈱イズミ	代表取締役	代表取締役	宮川良栄
上越ガスサービス㈱			柴山、秋山
㈱石田工業所	代表取締役社長	代表取締役社長	石田祐一
㈱石田工業所			金子
新貝工業㈱	所長	所長	中田隆
田辺工業㈱			

北栄建設㈱			
㈱植木組			
㈱井上商会	取締役営業部長	取締役営業部長	和栗
㈱松沢建設	代表取締役	代表取締役	宮崎
㈱山田商会			竹内、粕川

4 その他参考となるべき事項

当社は、平成18年4月より旧上越市本支管工事の入札参加をしました。当時上越市ガス水道局発注工事は、指名入札（予定価格公表）で行われていました。入札参加はしたものの、当時調整役をしていた北陸工業㈱山岸社長（山岸専務）、島津工業㈱嶋津会長（嶋津社長）により入札金額を自由に入れられない状況でした。そのため、予定金額が公表されていたので低価格（予定金額の80%程度で、最低入札金額以上）で入札するしか受注の方法がありませんでした。2物件このような状態が続くと、調整役の二人から談合に加わるように説得されました。その後Aランクになり、しばらく談合が続きましたが、調整役の二人に、なかなか話が伝わらず平成19年4月に2物件低価格で入札し落札しました。その後調整役より今後は話を聞くということで、談合状態になりましたが、また話がつかず、平成19年9月～12月まで低価格で応札していました。その後は談合に加わるように説得されてまた談合をするようになりました。

平成21年度からは、若い人たちで話し合って調整するようにと調整役の二人より指示され平成21年4月より、北陸工業㈱山岸専務、島津工業㈱嶋津社長、頸城水道㈱中山社長、㈱イズミ宮川社長、㈱セイセツ石津の5社で調整役になりました。

調整役の5社で業者別に過去の受注金額実績で、旧上越市の本支管工事の年間受注予定金額を決定しました。（提出資料4-（1）これは、5社だけしか知らない金額で、他の業者にははっきりとした金額は伝えていないと頸城水道㈱中山社長より聞きました。）受注調整は上越市ガス水道局より入札指名が出されたあと各業者より、頸城水道㈱中山社長と、北陸工業㈱山岸専務へ、案件の指名に入ったこと（何日の何番）、過去の施工実績があること、今手持ちの工事状況等を電話により伝える方法がとられていました。指名通知が出た数日後、頸城水道社長室に5社の調整役が集まり、過去の施工実績・今手持ちの工事状況・年間受注予定進捗率を考慮し、各社の希望を検討して5社の調整役で、落札予定者を決定していました。（年間受注予定進捗率は、頸城水道㈱中山社長及び、北陸工業㈱山岸専務のパソコンで作成しています。）私の手帳に書いてあった集まった日時をまとめたものを提出します。（提出資料4-（2）それでも調整がつかないときは、当事者同士で話をしたこともありました。

落札予定者は平成23年5月までは、予定価格が事前公表なので、予定価格の95%以下の数字で応札し、その他の業者は、予定価格の95%以上で応札していました。（全業者にルールとして決めていました。）平成23年6月より入札制度が変更になり、予定価格が

事後公表になったため、落札予定者は指名に入っているその他の業者担当者に〇〇〇〇万円以上で応札してください、または入札金額を指定して〇〇〇〇万円で応札してくださいと電話連絡をしていました。(提出資料 4- (3) 平成 23 年 6 月に頸城水道榑中山社長が各社に配布した連絡先を提出します。) 平成 23 年 7 月より、当社は談合を止めきちんと積算をし、応札しております。ですが、いまだに談合がなされています。当社が入札指名に入っているときは落札率が低く、入札指名に入っていないときは落札率が高くなっております。(提出資料 4- (4))

談合に応じていた本支管工事入札参加業者 (A ランク) のリストを提出します。(提出資料 4- (5))

5 提出資料

次の資料を提出します。

番号	資料の名称	資料の内容の説明 (概要)	備考
1	年間受注予定金額	平成 21.22.23 年度年間受注予定金額	4- (1)
2	談合を行っていた日時	調整役が集まった日時	4- (2)
3	災害時緊急連絡表	電話連絡用の担当者名、電話番号	4- (3)
4	入札結果	入札結果 (落札率)	4- (4)
5	本支管工事入札参加業者 (A ランク)	談合に応じていた他の業者名、住所、電話番号	4- (5)